

婦負の野



ISO9001認証取得

〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故) 杜浦 荻水先生



作業センターふじなみでの椎茸摘み取り作業



生活介護班では体育館での運動



みしまの工房ではたおり作業

7月から3カ月間、しらとり支援学校から研修に来ています。

最初のオリエンテーションでうさか寮を見学した際、「居室をほとんど個室にし、床や調度品などの仕様も一人ひとりの実態に応じたものにしてから、強度行動障害のある利用者がとても落ち着き、問題行動が減って集団活動にも参加できるようになりました」という話を伺いました。自分の居心地の良い居住スペースが確保されるということが、そこまでの効果をもたらすということにとても衝撃を受けました。学校や寄宿舎で同じことが出来るかと考えたときに、難しい点は多々ありますが、運用の工夫次第で児童生徒がクールダウンしたりするためのスペースを作ることが出来るかもしれないと思い、良いヒントをいただきました。

オリエンテーションの後、1〜2週間ずつ各作業所を体験しながら利用者の方々と一緒に作業をしています。そこで感じたことは、利用者の方一人ひとりがとても生き生きと自信をもって働いておられるということです。利用者の中には、他の施設では対応が難しかった方もおられます。「支援者は、利用者の出来ること、得意なこと、好きなことを整理してあげ、出来ることを使って仕事を作り出してあげる」。これは、めひの野園の理念だとのこと。私はこの理念を聞いて、「だからか!」と思いあたりました。たくさんさんの良いヒントをありがとうございました。

学校に戻ったら、めひの野園からいただいたヒントを生かし、児童生徒が安心でき、生き生きと活動できる学校づくりを目指していきたいと思っています。

(しらとり支援学校教諭 水巻 岳也)

めひの野園の今日のニュースと明るい明日を紹介します!

あしたのめひの

第9回

うさか寮 生活介護
「利用者のストレスを軽減させる取り組み」



「利用者さんが笑顔で過ごせるために専門性を高めていきたい」と語る般若主任(左)と、スヌーズレンルームの整備に取り組んでいる萩原支援員(右)

うさか寮生活介護事業所は、重複障害の方や、強度行動障害の方など、日常生活において様々な介護が必要な利用者さんを支援しています。今回は生活介護事業所の般若敏雄主任と、現在「スヌーズレンルーム」の整備に取り組んでいる萩原紗弥支援員に、利用者のストレスを軽減させる取り組みについて聞きました。

Q うさか寮生活介護事業所はたくさんの方が利用されていて、活動内容も豊富ですね?

—そうですね。生活介護では、重複障害の方や強度行動障害の方などが利用されており、それぞれの障害に合った様々な支援が必要になります。一人ひとりに個別的な支援ができるように、「リサイクル班」「委託作業班」「生活介護班」に分かれ、作業能力だけではなく、年齢や体力、生活の自立度に応じた活動を行っています。

Q 生活介護で特に大切な支援とは何ですか?

—生活介護を利用されている利用者さんは、言葉による感情表現が難しい方や、自分の感情をうまくコントロールすることが困難な方もいます。大切なのは、支援者側が利用者さんの感情を読み取ってあげること、落ち着いて過ごすことが出来る環境や活動を用意し、ストレスを軽減してあげることだと考えています。

Q 利用者のストレスを軽減させるためにどのような取り組みをしていますか?

—例えば、山歩きでは、身体機能の向上だけではなく、森林浴によるリラクゼーション効果があります。また、アロマセラピーや、マッサージ師によるマッサージ、スヌーズレンルームの活用などに取り組んでいます。



マッサージにより身体の緊張をほぐします

Q スヌーズレンルームの整備には萩原支援員が取り組んでいるのですね?

—はい。スヌーズレンルームとは、「パブルタワー」や「プロジェクター」、良い香りを出す「アロマディフューザー」、肌触りの違いが楽しめるクッションなどを設置し、光や香り、触感といった様々な感覚刺激を楽しむことが出来る空間です。利用者さんが落ち着いて過ごせる空間にすることを念頭に、工夫を重ねて整備してきました。

Q スヌーズレンルームを使ってみた利用者さんの様子はいかがですか?

—日常とかけ離れた幻想的な空間が用意されることで、日中活動の中で少し不安定になっていた方が、この部屋を利用したことで落ち着きを取り戻したり、利用を楽しみにしている方がいたり、効果を実感しています。



パブルタワーやプロジェクターによって、幻想的な空間になっています

Q 最後に、今後の課題や展望を般若主任にお聞きします。

—色々な活動が出揃ってきた今、必要なのはそれを活かした、より専門的な個別支援プログラムだと思います。利用者さんが毎日楽しく健康的に活動し、笑顔でいられる空間作りのために、これからますます私たち職員は専門性を高めるための研鑽を積んでいかなければいけないと思っています。

(広報委員会 柴田 香菜江)

作業センター ふじなみ 椎茸ましましで!



秋空の下、増設した2棟のハウスが並ぶ

椎茸栽培ハウス2棟増設

作業センターふじなみでは、社会福祉法人清水基金と富山県共同募金会の助成を受けて、椎茸栽培ハウスを2棟増設しました。

増設に至った背景には、県内生産者の高齢化や、企業の経営不振で、椎茸生産者が減少傾向にあるという現状があります。その結果、ふじなみにある既存のハウス数では対応しきれないほどの椎茸や菌床の注文が増えているのです。

椎茸栽培は「仕込み」「運搬」「収穫」「パック詰め」と作業工程が多く、そのうえにそのほとんどは機械化できない手作業です。このことが県内の椎茸生産者が減少している要因の一つですが、自閉症の方の仕事としてはむしろ利点といえます。「自分の特性に合った作業工程を選択できること」、「天候に左右されず、年間を通して常に安定した仕事があること」を武器に、ふじなみでは椎茸の一貫生産に取り組んできました。

利用者の経済的自立を目指す

5月に14番ハウス（清水基金助成）、7月に15番ハウス（富山県共同募金会助成）が完成し、順次稼働を開始しています。ハウスの面積はいずれも168㎡で、更なる椎茸の収穫量の増加、売上高の向上を目指します。

また、ハウスが増えたことにより利用者の仕事量も多くなります。「彼らの得意なことや好きなことを活かした仕事を提供し、地域で自立した生活が出来るよう支援したい」と語るのは室賢一主幹。ハウスの増設により、利用者の工賃向上に繋がることも期待されます。このハウスの増設事業が、減少傾向にある富山県産椎茸の生産を支えるとともに、利用者が地域で自立した生活を送ることの支援になればと考えています。

（広報委員会 室澤尚史）



新しいハウスでさっさく収穫作業に励んでいます

群竹
muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー



うさか寮 生活支援員
萩原 紗弥

私が所属するうさか寮では、月に2度、講師を招いてエアロビクスを行っている。職員も利用者さんと一緒にダンスやストレッチをするのだが、私は元々の体の硬さからレッスンの追い付けないことがあった。昔から何かにつけて負けず嫌いな性格で、今年の4月から思いつきでホットヨガに通い始めた。

ホットヨガは、室温39度前後、湿度60%前後に保たれた室内で行う。何もしてなくても汗が出てくるような環境だが、この室温は体を一番柔軟にするとしており、多湿な環境は発汗を促す。ヨガを身近に感じたことがなかった私にとって、体が硬くてもできるものなのかと不安だったが、初日からヨガに対するイメージが大きく変わった。

ヨガで欠かせないのは「呼吸」で、代表的な腹式呼吸から始まり何種類もある。普段自分の呼吸に耳を傾ける機会などなかったが、呼吸を意識するだけで気持ちリラックスし、自然と自分のことをよく知れたような気持ちになった。たくさん音の中で慌ただしく生活し、無意識に体がストレスを感じたり、心に余裕がなくなったりする「ストレス社会」と呼ばれる世の中で、この時間だけは自分だけを見つめられているような感覚がある。私は今、何よりもこの時間がたまらなく好きだ。

エアロビクスがきっかけでヨガに出会い、仕事終わりや休日にくらっと立ち寄り、傾いてしまった気持ちをもとの位置に戻してもらっている。体を柔らかくすると意固地になっていたが、ヨガは頭の中まで柔軟にさせてくれていたようだ。

いいたけん 特別編

第2回「ノーマライゼーション」
って?...の巻!!

いいたけ君
(実は主人公)

あっ!!
福祉さん

どうしたの?

やあ!!
しいたけ君と
しいたけちゃん!!

福祉そう太:
めひのの某職員がモデル

しいたけちゃん

うん。「正常」とか
「普通」って
意味だね。

だね。

じゃあ僕が
説明するね!!
「ノーマル」って言葉は
わかるよね。

こうなっ
ちゃって...

お兄ちゃんに
「ノーマライゼーション」
ってなに? って聞いたら、

でも、社会には
「普通の生活」を
送ることが
困難な、
障害のある人や
高齢者などが
いるけど、

そういう、普通に
暮らせない人は
追い出し
ちゃえばいいと
思うかい?

それは
おかしいよ!!

そういう
考え方って
怖いよ!!

なるほどー!!

だよな。
障害のある人でも
「普通の生活」を送って、
自分らしく
暮らしていけるように
することを、
「ノーマライゼーション」
って言うんだよ。

それに、
障害のある人、高齢者、子供、
いろんな人がいるのが、
「普通の社会」だもんね。

だね!!

めひの野園は、社会福祉法人として、
障害のある人でも地域で普通に
暮らせる社会を目指して
がんばっています!!

おー!!

がんばるぞー!!



めひの野園産の卵のほか、県内産の食材にこだわった親子丼



店舗は富山駅構内「とやマルシェ」の中にあり、仕事帰りにも立ち寄りやすい



昭和を感じさせる、どこか懐かしい雰囲気店内

海幸山幸 越中茶屋

〒930-0001 富山市明輪町1-220
Tel.076-441-9008
定休日なし

富山駅でお食事を楽しみたいときはこちら！「氷見うどん」や、八尾町の「生そば」など四季折々の旬の食材を使った料理が味わえる「海幸山幸 越中茶屋」です。

品質の高い国産の食材にもこだわり、お米は富山県産の「天たかく」を使用。椎茸、卵はめひの野園産を使っています。お酒も富山県のとっておきの地酒を揃えています。

店舗は駅構内「とやマルシェ」にあるので利用しやすく、店内は地元の方や外国の方で賑わっています。

昭和のお蕎麦屋さんを思わせる落ち着いた雰囲気店内で、電車の待ち時間や仕事の帰りにちょっと一杯いかがですか？

営業時間
10:00～21:00（ラストオーダー20:40）



イタリアン食堂 ラディーチェ Radice

〒939-8204 富山市根塚町3-9-6
Tel.076-461-6877 月曜定休

店名の「Radice(ラディーチェ)」には、イタリア語で「根付く」「普及する」「腰を据える」という意味があり、富山にしっかりと根を張り、地場のものを活用し、訪れる人がゆったりとくつろげる場になってほしいと名付けました。

地産地消の思いからめひの野園さんとのご縁があり、めひの野園の卵は、ランチの前菜に欠かせないオムレツや、自家製の手打ちパスタ、デザートやメイン料理のソースなどに幅広く活用しています。

ぜひ「Radice」の料理でくつろぎの時間をお過ごしください。

営業時間
ランチ 11:30～14:30(ラストオーダー14:00)
ディナー 17:30～22:00(ラストオーダー21:30)



めひの野園の卵を使った自慢の料理。「トロットロなカタラーナ」(右上)、「パブリカの入ったイタリア風オムレツ」(右下)、「5種類のキノコが入ったカルボナーラ」(左上)、「舌平目のムニエル・フィレンツェ風」(左下)

めひの野園を応援していただいているお店を紹介します！

こんな支援が あったまる!

第9回「出来ること」を活かし、伸ばす支援
～「あなたにしか出来ない」と言われるまで～

めひの野園で取り組まれている「合理的配慮」による支援。「こんな支援があったのか」と思わず○をつけたいような心温まる支援を紹介します。

普段は「作業センターふじなみ」で、椎茸を詰める箱作りの作業に取り組んでいるIさん。ある時、園長から、「Iさんは昔縫製会社でミシン掛けの仕事をしていた。その能力を活かして手芸班の仕事をやってみてはどうか」との提案がありました。

めひの野園では、「利用者の出来ること、得意なこと、好きなことを活かし仕事に繋げる」をモットーに支援に取り組んでいます。今回は、園長も注目の「Iさんのミシン掛け作業」を紹介します。

支援の Point ここが○

「出来かかっていること」に
目を向ける



みしまの工房で取り組んでいるミシン掛け作業の様子

めひの野園では設立当初から「障害のある人でも地域で普通に暮らすこと」を目指し、地域の一般企業への就労にも長年取り組んできました。今から20年以上も前に、Iさんも梨の選果場を始め、一般企業への就労定着を試みましたが、どこも長続きしなかったそうです。「障害者雇用」という言葉がそれほど一般的ではなかった時代なので、一般就労が難しかったのも無理はなかったのかもしれない。そんな中、Iさんは他の利用者さん達と一緒に、ある縫製会社に就職しました。Iさんのお母さんに当時の話を聞くと、周囲の社員からの目はやはり冷ややかで「どうして障害者なんか雇ったのか」という声もあったそうです。

支援の Point ここが○

「この人にしか出来ない」
仕事がいかに繋がる

ところが一人だけIさんの能力に目を向けてくれるAさんという社員がいました。最初は「カウンター」という機械で布の枚数を数えるだけがIさんの仕事でしたが、「これも出来るのではないか」という視点でAさんが教えてくださり、裁断や糸切り、そしてミシン掛けも出来るようになりました。Iさん本人が言うには、「自分のことをすごく褒めてくれて、それが嬉しかった」とのことです。Aさんが辞められるまでの10年以上の間、一緒に仕事を続けられたそうです。



書類を保管する「図面袋」が完成!

現在、Iさんは毎週月曜日の午後「みしまの工房」でミシン掛けの仕事をしています。そこで作っているのは「図面袋」という書類を保管するための袋で、同じ規格の物が50枚、100枚と注文が入ります。規格が決まっているため、作業には細かさや正確さが求められます。

支援の Point ここが○

「これなら出来るんじゃない?」の視点



細かく正確な作業には驚くばかり

そこで輝くのがIさんが身に付けた縫製技術です。ずっとミシン掛けの仕事を続けていただけあって、同じものを大量に縫うのはお手のもの。「Iさんにしか出来ない」と言われることが本人にとってすごく嬉しいことで、やりがいにつながっているそうです。ミシン掛けの仕事を始めてから自信がついたのか、「家でご飯を作ってくれるようになった」とお母さんも喜んでいます。

園長が常々言われるのは、「自閉症の人を『自閉症だから』と見切ってしまうてはいけない。出来ることを見つけてあげて合理的配慮による支援を行うことがめひの野園の原点ですよ」と。

利用者さん一人ひとりに、「これなら出来るんじゃないか」という視点で接して、彼らが持っている本来の力を引き出すことで、「出来ること」が「本人だけの仕事」になっていくのではないかと感じました。

(広報委員会 室澤 尚史)

めひのスポーツ

めひの熱い闘い!



記録的な猛暑となった2018年夏。異常な暑さの中、めひの野園野球部の「熱い」戦いが続いた。そんな野球部の今シーズンの軌跡を追った。

熱闘! 強敵揃いの大会で善戦

北日本新聞朝間野球

めひの野園野球部は、5月11日(金)に開幕した北日本新聞朝間野球第63回富山市大会に出場した。

▽一回戦(市民球場サブ)

めひの野園

3 6 4 13
0 0 0 0

浜黒崎ペーパーズ

(二回)コールドゲーム

(め)河合 中塩 保木

(浜)飯山 松本 山口俊

▽三塁打 中塩(め)

めひの野園は初回、中塩、室の適時打に室澤の犠飛で3点を挙げ先制した。二、三回には四死球に敵失などを絡め大量10点

を奪い圧勝した。

▽二回戦(市民球場サブ)

めひの野園

0 5 0 2 0 7
0 0 0 2 0 2

エンジェルズ

(五回時間切れ)

(め)河合 保木

(エ)笹倉 中村

▽二塁打 谷内(エ)

めひの野園は二回、敵失に岩城、久郷の適時打など打者一巡の猛攻で一挙5点を奪った。四回には保木の適時打に室のススクイズで加点し、相手の反撃を退けた。

▽三回戦(市民球場サブ)

めひの野園

0 0 0 0 0 0
2 0 1 0 0 X 3

富山トヨタ

(六回時間切れ)

(め)河合 中塩 保木

(富)五十嵐 上田

富山トヨタは一回、押し出しの死球に内野ゴロで2点を先制した。三回には敵失で加点した。

めひの野園は相手投手を打ちあぐね、安打や四球の走者をかえすことができなかった。

富山新聞朝間野球

▽一回戦(県営球場サブ)

富山ダイハツBC

0 0 0 0 0 0 0
0 0 0 4 0 1 X 5

めひの野園

(タ)平井 寺島 竹田

(め)中塩 保木

▽二塁打 保木 久郷(め)

めひの野園は四回、岩城、河合の適時打などで先制。六回に敵失で加点した。先発の中塩は安打を許すも粘り強い投球で完封した。

▽二回戦(県営球場サブ)

なのはな倶楽部

3 1 0 0 2 6
0 0 0 0 0 0

めひの野園

(め)河合 中塩 保木

(な)冬木 阿部

▽三塁打 中塩(め)

▽二塁打 金森 山根(な)

めひの野園の先発河合は立ち上がりを叩かれ、連続適時打で3点を許す。めひの野園は安打や敵失で出塁するも、なのはなの先発冬木を攻略しきれず完封を許した。

遠い1点...

全国社会福祉軟式野球大会 北陸ブロック予選大会

めひの野園野球部は、7月21日(土)、石川県野々市市で開催された第36回全国社会福祉軟式野球大会北陸ブロック予選大会に出場した。

▽一回戦

めひの野園

0 0 0 0 0 0
0 0 0 1 0 0 1

セナー苑

(め)中塩 保木

(セ)水井 神谷

▽二塁打 久郷、中塩(め)

初回到久郷、5回には中塩の二塁打で好機を得るも、あと一本が出ないめひの野園。一方、死球で出塁したランナーをワンチャンスでものにしたセナー苑。「これが野球の難しさなのか」と感じさせる一戦となった。

めひの野園野球部2018年度シーズン成績表(9月30日現在)

※(北)：北日本新聞朝間野球

(呉)：呉羽リーグ

(富)：富山新聞朝間野球

日時	対戦チーム名	結果
6/25	富山ダイハツBC(富)	●5-0
5/31	富山トヨタ(北)	○0-3
5/27	パプリンス(呉)	●2-0
5/23	エンジェルズ(北)	●7-12
5/13	浜黒崎ペーパーズ(北)	●13-0
4/22	いふD(練習試合)	○2-4

日時	対戦チーム名	結果
7/1	なのはな倶楽部(富)	○0-6
7/15	ヒップヒッターズ(呉)	●11-4
7/21	セナー苑	○0-1
7/29	スナイパーズ(呉)	●14-0
8/19	パルマレット(呉)	●6-0
8/26	焼肉慶(呉)	●4-0

熱戦続く呉羽リーグ

呉羽地区の野球愛好家が集い、8チームの総当たり戦で争われる、第26回富山新聞社杯争奪呉羽野球リーグ戦大会では熱戦が続いている。

めひの野園は現在6試合全勝で、優勝も視野に入ってきた。チームを引っ張っているのは中塩映選手(作業セナーふじなみ)。投打にわたる活躍で、打者としてはヒップヒッターズ戦で初回から目の覚めるような本塁打を放ち、投手としては焼肉慶戦で強敵相手にノーヒットノーランを達成。まさに「めひの二刀流」と呼ぶに相応しい活躍を見せている。



投打にわたる活躍の中塩選手

